

原文

修正文

(本文 77 頁 21 行～ 78 頁 8 行)

国民公会は裁判のうえ、翌 1793 年 1 月にルイ 16 世を処刑し、のちに王妃も処刑した。

ときのイギリス首相は、諸国によびかけて対仏(反革命)大同盟を結び参戦した。国内でも革命政権に反対する動きが続いた。こうした内外の危機にさいして、山岳派はロベスピエールなどを中心に公安委員会に権力を集中した。この革命独裁のもと、徴兵制度によって祖国防衛戦争をすすめ、物価を統制し、封建的特権を無償で廃止して民衆・農民の支持をとりつけた。この時期には女性もふくめて民衆運動がもっともさかんだったが、また挙国一致体制も強まり、政権に反対するものは、革命裁判所によって処刑台におくられた(恐怖政治)。

フランス革命における女性と民衆運動の関係について
理解し難い表現である。

削除